



環境社会報告書 2019



©Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール



経営の理念

創造性豊かな好感度企業をめざして…

快適で豊かな生活環境を創造します

お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します

新しい時代に向かって企業活動を推進します

社員を大切にし、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて…

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう

常に向上心を持ち自己研鑽に励もう

豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう

自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう

音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

創業以来私たちはより良い楽器づくりと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてきました。社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の生活文化に貢献してゆくために、カワイは上記の経営理念及び行動指針に則り、企業活動を推進してまいります。

表紙の写真

上：竜洋工場より

竜洋工場では「森の中の緑の工房」として、工場緑化をすすめています。

下：第2回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール 優勝者アンドレイ・シチコさん

当コンクールは次世代のピアニストの発掘・育成、国際交流や音楽文化振興などの目的で開催しています。

編集方針

内容

カワイグループにおける環境活動側面に加え、企業における社会的責任の視点、ガバナンスの取り組みを掲載した「環境社会報告書」となっています。

なお経済側面につきましては、概要を5ページに記載しました。

カワイグループの事業内容の詳細はウェブサイトをご参照願います。

対象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地元住民・NGO、行政・国際機関など多様なステークホルダーの皆様を対象としています。

2019年版について

出来得る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、皆様にかワイグループの取り組みをわかりやすく伝えるように努めました。

報告対象期間

2018年度（2018年4月～2019年3月）を主体としていますが、一部重要な事項につきましては2019年4月以降の最新情報を含んでいます。

集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

報告対象組織

- ・(株)河合楽器製作所 本社 / 竜洋工場
- ・カワイ精密金属(株)
- ・(株)カワイキャスティング
- ・(株)カワイハイパーウッド
- ・(株)カワイ音響システム

目次

トップメッセージ 3

カワイグループの企業概要

カワイグループの会社の概要と主な事業 5

カワイグループのあゆみ 6

新中期経営計画「Resonate 2021」の概要 7

環境に対する取り組み (Environment)

地球環境憲章 9

環境方針 / 環境推進組織 10

環境負荷低減の目標と実績 11

廃棄物削減の取り組み 12

グリーン調達ガイドライン 13

環境マネジメントシステム 14

「カワイの森」植林活動 15

マテリアルバランス 16

社会に対する取り組み (Social)

次世代を担うピアニストの育成 17

音楽文化の普及 18

各種音楽団体の支援 19

海外での音楽文化の普及 20

教育事業 21

体育・スポーツ教室 22

スポーツコミュニティ 23

一般事業主行動計画の遂行 24

障がい者雇用の積極的な実施 25

ガバナンスの取り組み (Governance)

コーポレート・ガバナンス基本方針 26

コーポレート・ガバナンス体制 / 内部統制システム 27

リスク管理体制 28

資料編

環境負荷サイト別一覧 29

第三者意見 30

本誌は、Web上でもご覧いただけます。
URL= <https://www.kawai.co.jp/csr/>

トップメッセージ

株式会社河合楽器製作所
代表取締役会長兼社長

河合弘隆



長期ビジョン「100年ブランドの確立」のもと
100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、
企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長に取り組みます。

長期ビジョン「100年ブランドの確立」と新中期経営計画「Resonate 2021」の推進

当社グループは、創業者河合小市の「世界一のピアノをつくりたい」という創業の志を受け継ぎ、持続的な成長を図るための長期ビジョン「100年ブランドの確立」を策定しました。100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させてお客様満足度の向上を追求するとともに、音楽文化への貢献を通して企業価値・ブランド力の向上に取り組んでおります。

2016年度から2018年度の3年間は、中期経営計画「Resonate 2018」で掲げた主要戦略に沿った施策を実施してまいりました。

楽器教育事業では、国内の中核都市の店舗を、コンサートサロンを併設した店にリニューアルし、カワイブランドを体感してもらえる店舗戦略を進めました。海外戦略では、米国・欧州での直営店展開により販売基盤を強化し、中国・東南アジアでの音楽教育事業や調律事業などの展開により中長期的な成長を見据えた基盤体制を構築・強化してまいりました。その結果、とくに中国でのピアノの販売は、大きく伸長しました。

商品施策では、高付加価値戦略のもと、最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』の販売拡大や、ピアノ技術とオーディオ技術の融合により新しいピアノの可能性を提示したハイブリッドデジタルピアノ『NOVUS NV10』やハイブリッドアップライトピアノ『AURES』などの競争力のある魅力的な商品展開を推進しました。

※ Resonate (レゾナイト) は「鳴り響く・響き渡る」「共鳴する」という意味

素材加工事業では、異形圧延技術による金属加工品の CVT 自動車向けや半導体向けの受注拡大に取り組んでまいりました。

また、昨年11月に開催された「第10回浜松国際ピアノコンクール」では、前回に引き続き、フルコンサートピアノ『SK-EX』を選定した奏者が優勝を果たしました。これは、創業以来培ってきたピアノづくりをベースに1980年に竜洋工場を造り、その後40年近く積み重ねてきた新しいピアノづくりの成果であると思います。

本年3月には、2019年度から2021年度を計画期間とする新中期経営計画「Resonate 2021」を策定しました。本中期経営計画を長期ビジョン「100年ブランドの確立」の実現に向けた「成長の為のさらなる基盤強化」のステージと位置付け、重点戦略として、「販売力」、「製品・サービス力」、「生産力」、「組織力」をそれぞれ深化させることに取り組めます。また、事業戦略として、教育・調律事業における海外展開の拡大及び素材加工事業における生産体制の強化により中長期的に重要な事業基盤の強化を図ってまいります。

さらに、企業に対する重要な社会的要請である ESG (環境・社会・ガバナンス) への取り組みを中期経営計画の重要課題と位置付けました。事業活動を通じて持続可能な社会の形成に貢献することが、社会的価値の創造と企業価値のさらなる向上に結びつくものと考え、ESG への取り組みを強化してまいります。



長期ビジョン「100年ブランドの確立」と新中期経営計画「Resonate2021」の位置づけ

人財の育成と音楽文化への貢献

時代に即した組織づくりをするためには、ダイバーシティやワークライフバランスなど、さまざまな課題に取り組まなければなりません。

また、世の中の急激な変化に対応し、長期ビジョン「100年ブランドの確立」を実現するためには、これからのカワイを担う「人財」の育成が重要です。一人ひとりが持つ力を十分に発揮できるよう、教育研修プログラムの拡充による能力開発を図ると同時に、女性活躍推進を起点とした働き方改革の実現に向けて取り組んでまいります。

2017年には、当社の創立90周年を記念して「Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール」を創設いたしました。本コンクールの特色の一つは、演奏技術のみでなく真にすぐれた音楽家を見出すことに注力した課題曲が選ばれていることであり、世界で活躍する若手ピアニストも参加するハイレベルなコンクールとなっています。本年、7月から8月にかけて東京で開催する第3回目のコンクールでは、18の国と地域より234名のエントリーがあり、予備審査を通過した58名が1次予選に臨みます。

当社グループは、本コンクールや各地で開催するカワイコンサートなどを通じて、次世代を担う、若い才能あるピアニストを見だし、育成・支援するとともに、国際交流の推進や国内外の音楽文化の振興にも貢献してまいります。

環境への取り組み

ピアノには、世界各地から産出される様々な木材や、羊毛から作られるフェルトなどが使用されています。

多くの自然資源の恩恵を受けて事業活動を行っている当社グループにとって、豊かな自然環境が保たれることは、持続的発展に不可欠であります。このような考えから「地球環境憲章」と「環境方針」を定め、その理念を推進する体制として全社で組織する「カワイ地球環境委員会」を設置しております。

また、国内・インドネシア・中国の主な生産拠点ではISO14001環境マネジメントシステムを導入して、地球環境に配慮した事業活動とグローバルな地球環境の保全への取り組みを進めています。

今後も、「木材調達ガイドライン」などの方針に基づいた責任ある調達、資源効率向上による省エネルギーと廃棄物の削減、リサイクルによる資源循環の取り組み、CO₂吸収などを目的としたインドネシアの「カワイの森」植林活動といった環境負荷低減につながる取り組みを積極的に推進いたします。

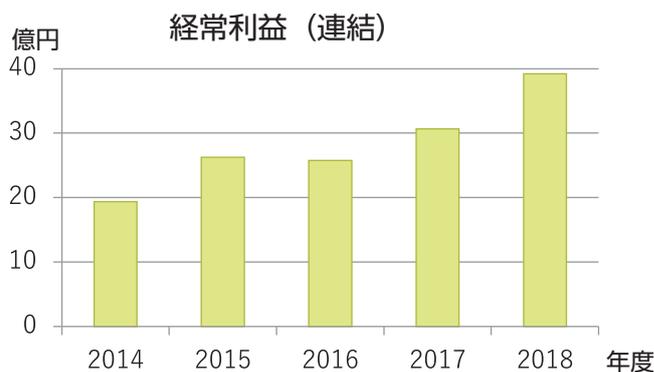
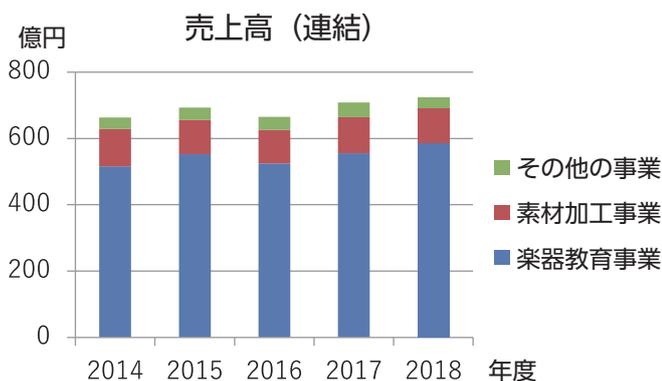
当社グループは、これらの取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献していくことにより、全てのステークホルダーの皆様から信頼される世界一のピアノづくりの企業を目指してまいります。

今後とも、皆様の一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

カワイグループの会社の概要と主な事業

社名 株式会社河合楽器製作所
 本社 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地
 創立 1927年(昭和 2年) 8月 9日
 設立 1951年(昭和 26年) 5月 15日
 代表者 代表取締役会長兼社長 河合弘隆
 資本金 7,122,881 千円 (2019年 3月末現在)

年度		2016	2017	2018
売上高 (百万円)	単独	48,095	50,197	51,524
	連結	66,548	70,795	72,376
従業員数 (名)	単独	1,293	1,291	1,269
	連結	2,833	2,837	2,813



楽器教育事業

ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売及び楽器調律・修理の役務提供業務
 音楽教室・体育教室の運営、教材販売、楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売

- 国内での販売
 - (株)河合楽器製作所
 - (株)全音楽譜出版社 他
- 海外での販売
 - カワイアメリカコーポレーション
 - カワイヨーロッパ GmbH
 - カワイカナダミュージック Ltd.
 - カワイオーストラリア PTY.Ltd.
 - PT. カワイミュージックインドネシア
 - 河合楽器 (中国) 有限公司
 - 河合貿易 (上海) 有限公司
 - カワイ UK Ltd.
 - カワイフランス SASU
 - カワイピアノ・ロシア
 - 海外販売代理店及び商社
- 楽器の調律・修理
 - (株)河合楽器製作所
- 国内での楽器製造
 - (株)河合楽器製作所
 - (株)全音楽譜出版社
- 海外での楽器製造
 - PT. カワイインドネシア
 - 河合楽器 (寧波) 有限公司、上海カワイ電子有限公司
- 国内での教育関連
 - (株)河合楽器製作所
 - (株)全音楽譜出版社
- 海外での教育関連
 - PT. カワイミュージックスクールインドネシア
- その他
 - (株)カワイ友の会

素材加工事業

電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、鋳鉄
 鋳物の製造及び販売、防音室・音響部材の製造及び販売

- 金属異形圧延加工品の製造 カワイ精密金属(株)
- 自動車部品用材料の製造 (株)カワイハイパーウッド
- 鋳鉄鋳物の製造・販売 (株)カワイキャスティング
- 防音室・音響部材の製造・販売 (株)カワイ音響システム

その他の事業

- 情報関連事業、金融関連事業、保険代理店事業 他
 - (株)カワイビジネスソフトウェア
 - (株)カワイアシスト
 - (株)カワイ旅行センター

カワイグループのあゆみ

- 1927 …… 河合小市 河合楽器研究所を創立
ピアノの製造・販売を開始
- 1929 …… 河合楽器製作所と改称
- 1935 …… 合名会社河合楽器製作所と改組
- 1951 …… 株式会社河合楽器製作所と改組
- 1955 …… 河合滋 社長に就任
- 1956 …… カワイ音楽教室を創設
- 1961 …… ピアノ組立工場として舞阪工場完成
- 1963 …… アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立
- 1966 …… カワイ音楽教室中央講師養成所(カワイ音楽学園)を
創設
- 1967 …… カワイ体育教室を創設
- 1980 …… 金属圧延加工のカワイ精密金属(株)を設立
ブランドピアノ専門工場として竜洋工場完成
- 1984 …… (株)カワイビジネスソフトウェア設立
- 1989 …… 河合弘隆 社長に就任
- 1994 …… 全社的な環境推進組織の地球環境委員会発足
- 1996 …… 新経営の理念、行動指針制定
- 1997 …… カワイ精密金属(株) 浜松事業所 ISO9002 認証取得
竜洋工場 ISO14001 認証取得 楽器業界で世界初
- 1998 …… (株)カワイハイパーウッド設立
- 1999 …… 最高級ブランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」
発売
- 2001 …… インドネシアに PT. カワイインドネシアを設立
最高級フルコンサートピアノ「SK-EX」完成
- 2002 …… 中国に河合貿易(上海) 有限公司を設立
- 2003 …… カワイ精密金属(株)浜松事業所 ISO9001 認証取得
- 2004 …… カワイ精密金属(株) ISO9001 認証を全社に拡大
中国に河合楽器(寧波) 有限公司を設立
- 2005 …… 竜洋工場 ISO9001 認証取得
- 2007 …… 中国上海市内にカワイ音楽教室第1号教室開設
「カワイの森」インドネシア植林事業開始
- 2008 …… 河合楽器(寧波) 有限公司 ISO9001 認証取得
PT. カワイインドネシア第3工場 ISO9001 認証取得
- 2009 …… 国内ピアノ生産工程を竜洋工場に統合
PT. カワイインドネシア第1・第2工場 ISO9001 認証
取得



1927年 河合小市は7人の技術者とともに
河合楽器研究所を創立しました

- 2011 …… インドネシアに PT. カワイミュージックインドネシアを
設立
PT. カワイインドネシア第1・第2工場 ISO14001
認証取得
- 2012 …… 中国に上海カワイ電子有限公司を設立
石川県羽咋市に(株)カワイキャスト設立
河合楽器(寧波) 有限公司で ISO14001 取得
- 2014 …… (株)全音楽譜出版社を子会社化
ロシア モスクワにカワイピアノ・ロシアを設立
- 2015 …… アメリカ テキサス州ヒューストンに海外直営ショップ
第1号店をオープン
カワイ精密金属(株)で ISO14001 認証取得
東北復興支援「カワイの森」東松島市で植樹活動開始
- 2016 …… 中国楽器業界と「ピアノ調律事業に関する基本合意」
を締結
(株)カワイハイパーウッドで ISO14001 認証取得
- 2017 …… 第1回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール開催
アメリカ テキサス州ダラスに海外直営ショップ第2号店
をオープン
フランス パリにカワイフランス SASU 設立
(株)カワイ音響システムで ISO14001 自己適合宣言
- 2018 …… ドイツ ハンブルグに海外直営ショップ第3号店を
オープン

新中期経営計画「Resonate 2021」の概要

長期ビジョン

100年ブランドの確立

100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長を図ります。

新中期経営計画「Resonate 2021」

基本方針

当社グループは、創造性豊かな好感度企業を目指し、「快適で豊かな生活環境の創造」・「お客様の満足を第一とした商品・サービスの提供」・「新しい時代に向けた企業活動の推進」・「社員を大切にし、明るい企業をめざす」を経営の理念とし、ピアノをはじめとする楽器・音楽教育等を通じて感動を皆様に広げ、快適な生活環境の創造に貢献することを使命としております。一昨年90周年を迎え、2019年度から2021年度までの新たな中期経営計画「Resonate 2021」(Resonate (レゾネイト) = 鳴り響く、響き渡る、共鳴する。)では100年ブランドの構築に向け、「販売力」、「製品・サービス力」、「生産力」、「組織力」をそれぞれ深掘りしてKAWAIのブランド力を高め、柱である楽器教育事業の収益性向上と、成長の為に基盤強化に取り組み、企業価値の向上を目指します。

重点戦略

楽器教育事業の収益力向上と事業拡大を目指し、それぞれの力を強化・結集させてKAWAIの成長を図ります。

(1) 販売力の深化

成熟市場においては、フラッグシップモデルの『Shigeru Kawai』や、ハイブリッド製品などの高付加価値品の販売強化に取り組み、安定成長と収益性の向上を図ります。また、販売網の強化として、特に米国やドイツにおける直営店の販売拡大や、フランスの販売会社の活動強化に取り組みます。国内においては、四位一体の販売体制(直販、調律、音教、卸・楽器店)の確立と、CRM(顧客管理システム)活用による販売基盤強化、旗艦店のリニューアルと首都圏展開の強化に取り組みます。中国市場においては、パートナーとの提携業務を深耕し、バリューチェーンの付加価値を拡大するとともに、音楽教室、調律事業の展開も連携して進め事業拡大を図ります。また東南アジアでの販売拡大と、中南米、中近東、アフリカ等での市場開拓の推進にも積極的に取り組んでいきます。

(2) 製品・サービス力の深化

『Shigeru Kawai』をはじめ、素材・基礎開発レベルでの研究継続による品質・製品力の深化、顧客満足度の追求に取り組みます。特に2019年からの3年間は、ハイブリッド製品や、タッチと音を追求したデジタルピアノの開発強化に重点を置き、生産工場に企画・開発機能を持たせ、市場ニーズに即した製品開発に取り組めるよう体制を見直し、中国向け商品展開の充実化や低シェア市場攻略の為に商品開発強化を図ります。あわせて、KAWAIのブランドマーケティング強化の為に、商品企画・デザイン・プロモーションまでを一元管理する体制を構築します。また、アーティストリレーションの強化や、MPA(Master Piano Artisan 技術力の高い調律師のみが持つ社内資格)の育成、アフターサービス体制の充実化を進め、さらなる顧客満足度の向上に取り組みます。

(3) 生産力の深化

グローバルかつフレキシブルな生産体制の強化と、QCD(Quality・Cost・Delivery = 品質・コスト・納期)をさらに高める為の重点設備投資を実施します。

ピアノについては、マザー工場である竜洋工場を中心に、長年培ったKAWAIのオンリーワン技術を次世代につなぎ、100年ブランドに相応しいピアノづくりをグローバルに展開します。また、販売が好調な『Shigeru Kawai』生産ラインの改革・生産能力増強や、新生産システム導入による戦略的な原価管理、最適生産に取り組みます。

デジタルピアノについては、中国をはじめ全世界での販売増に対応する為の生産体制を強化するとともに、生産工程の内製化など継続的な原価低減活動に取り組みます。

(4) 組織力の深化

中長期的に KAWAI グループが躍動するための人的資本の高度化に取り組みます。

- ・社員がいきいきと活躍できる「健康経営」の推進
- ・各階層に応じた教育研修プログラムの拡充による育成、能力開発
- ・女性の活躍を起点とした仕事と子育て・介護の両立支援と働き方改革の推進
- ・グローバル人材の育成推進、人事システムの刷新

また、経営基盤の強化のために、横断的な組織体制の構築やマネジメントプロセスの最適化、全社的な生産性向上と定型業務の効率化に継続的に取り組みます。



事業戦略

教育・調律事業の海外展開

教育・調律の自社ノウハウを活かし、各市場における KAWAI の総合的なブランド力を発揮する為の基盤構築を進めます。中国においては宋慶齡基金会との連携事業の強化を図り、コースの開発・多様化、カワイ認定講師の組織化、教育機関や楽器店などの教室実施拠点や地域の拡大に取り組みます。また中国楽器協会との調律研修事業の拡充、調律受託サービスの展開を進めます。東南アジアでは、インドネシア、タイでの教室事業の拡大を図るとともに、マレーシア、シンガポール、ベトナムへの展開を加速していきます。

素材加工事業

中核である金属事業においては、CVT 自動車向け部品の受注増対応の為、3年間で総額 18 億円の設備投資を実施し、生産能力の増強を図ります。また、EV 化の流れを見据えた新規品の開拓に取り組むとともに、第 3 の柱の育成に取り組みます。塗装事業においては、独自の塗装技術をさらに磨き、コスト競争力の向上と受注拡大活動を強化します。

連結業績指標

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高	73,000	74,000	76,000
営業利益	3,100	3,600	4,200
経常利益	3,100	3,600	4,200
当期純利益*	1,900	2,250	2,650
営業利益率	4.2%	4.8%	5.5%
R O E	7.5%	8.3%	9.2%

*親会社株主に帰属する当期純利益です。

(為替の前提レート US\$110 円、ユーロ 125 円、元 16 円)

企業価値の向上 ESG への取り組み

KAWAI グループの持続可能な社会の形成に寄与する活動として以下のように取り組みます。

- 【環境】 E…Environment** 「地球環境憲章」を掲げ、「環境方針」「グリーン調達ガイドライン」に基づき、より環境負荷の少ない材料・製品の優先的な調達や植林活動など、地球市民の一員としてグループ全体で環境・資源を守る積極的な取り組み
- 【社会】 S…Social** 楽器メーカーとして、Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールなど若手音楽家の育成・支援や各国での音楽教育普及活動による音楽文化への貢献
- 【ガバナンス】 G…Governance** 100 年ブランドの確立と持続的な成長を目指し、健全な企業経営の実現に向けた実行的な体制への取り組み

地球環境憲章に基づいて環境保全活動を展開しています

地球環境憲章

カワイグループは、素晴らしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定しました。

地球環境憲章

地球と人にやさしい企業をめざして

《基本理念》

『感動製造業』をモットーとする私たちは、地球市民の一員として環境と資源を守ると共に、真に豊かな心と社会の実現に尽くします。

また、グローバルな視野に立って地球環境にやさしい企業を目指します。

豊かな人間性や快適な生活環境の創造を
優れた研究、優れた技術、優れた商品の創造を
環境に優しい生産・流通・販売活動の創造を

《行動指針》

1. 音楽文化産業として、各々の事業分野で人と音との良好な関係を築いていきます。
2. 様々な場面で、環境への影響を科学的な方法により評価し、必要な対応策を実施することにより、環境の保全と人の健康を守ります。
3. 資源の有効活用と省エネルギーの推進を図ります。
4. 製品の研究開発・設計段階からリサイクルと廃棄物発生量の減少を目指します。
5. 環境の保全活動に関し、国内外の要請に応え、地域との共生を目指して積極的に参画し、保護対策を実施します。

環境方針

カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。

《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進しています。

カワイ環境方針

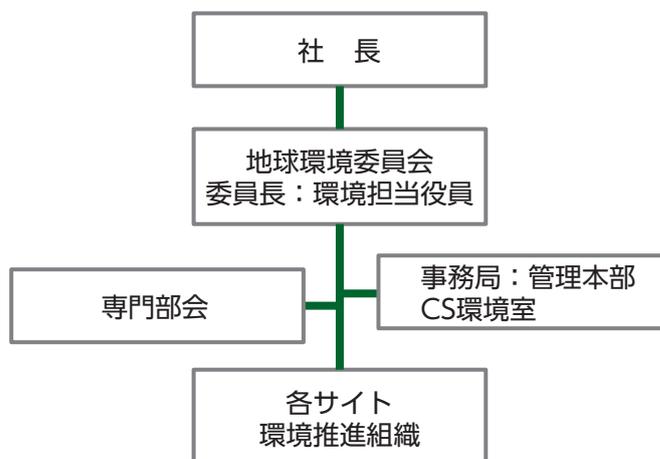
私たちは、楽器製造をはじめとする様々な事業の中で、環境への影響を配慮した活動を行い、地球環境の保全に向けた継続的な改善と汚染の予防に努めます。

1. 環境マネジメントシステムにより、環境負荷の低減や有益な環境側面を発掘し推進することを目標に設定するとともに、社会の期待や大きさに応じた定期的な見直しを実施します。
 - ① 社会の期待と環境負荷に配慮した「製品、サービスの提供」「技術の開発」に努めます。
 - ② 開発、生産、流通、販売、サービスなどの各部門において「地球温暖化防止」「資源循環活用」「資源有効活用」に努めます。
2. 必要な資源の調達・購入に際しては、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。(グリーン調達)
3. 環境に関連する法規制を遵守するとともに、その他の要求事項を考慮して自主的な基準を設け、環境管理レベルの向上に努めます。
4. 環境教育を通じ、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、日常業務や日常生活の中で自主的な貢献活動ができるよう啓蒙と支援を行います。
5. この環境方針を達成するため、環境管理担当役員を総括責任者とした環境管理の組織、運営制度を整備し、目標・計画・施策・責任を明確にして環境保全活動を展開します。

環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目標を設定し活動しています。

また、専門部会を隔月で開催し、各サイトにおける環境目標に対する経過報告や、取り組みの情報交換を実施し、サイトの枠を超えて環境改善を進めています。



環境負荷の低減や資源循環の取り組みを推進しています

環境負荷低減の目標と実績

地球環境委員会では、「地球温暖化の防止」や「資源循環と資源の有効活用」を目的として「地球環境憲章」と「環境方針」のもと、環境負荷低減に取り組んでいます。

2016年度～2018年度の3ヶ年計画の目標値をCO₂排出量と廃棄物排出量の売上高原単位で2015年度を基準年として毎年1%削減することと決めました。従って、2018年度は、それぞれ、2015年度比3%削減を目標値として取り組みました。

2018年度の実績を下表に示します。CO₂排出量原単位は2015年度比7.8%削減、廃棄物排出量原単位は同12.6%削減となり、目標値をクリアできました。

目標を達成できた要因は、CO₂排出量に関しては、大きな電力を使用する鋳物製造部門の生産や工程の合理化、全国の営業部門あがての省エネルギーへの取り組みによるものと考えられます。また、廃棄物に関しては、鋳物製造部門の生産と工程の合理化によって鋳さいの発生量が削減されたことが大きく影響していると考えられます。

	年度 指標	2014	2015 (基準年)	2016	2017	2018		
						2018 増減 (目標値-3%)	評価	
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	337	314	338	308	289	-7.8%	◎
	エネルギー使用量原単位 (MJ/百万円)	6,666	6,238	6,643	6,135	5,832	-6.5%	◎
資源有効活用	廃棄物排出量(総量) (ton)	2,399	2,252	2,242	1,976	2,058	-8.6%	◎
	廃棄物排出量原単位 (kg/百万円)	36.2	32.5	33.7	27.9	28.4	-12.6%	◎

評価 ◎:達成 ×:未達成

地球温暖化防止の取り組みと省エネ法対応

カワイグループでは地球温暖化防止の取り組みを環境経営の重点項目と位置づけ、下記の省エネルギー施策を実施することによって、エネルギー使用によるCO₂排出量の削減を推進しています。

CO₂ 排出量削減への取り組み

- ・省エネルギーに配慮した工場設備の導入
- ・LED照明への更新
- ・電力会社と共同の定期的な省エネ診断の実施
- ・オフィスでの「クールビズ」「ウォームビズ」運動の実施

上記の取り組みに加えて、工場の統廃合や海外移転にともない、国内の生産系事業所のCO₂排出量は大幅に削減されました。カワイグループ全体の2018年度のCO₂排出量は京都議定書基準年の1990年度に比較すると28.1%の削減となっています。

省エネ法(「エネルギー使用の合理化等に関する法律」)は、一定以上のエネルギーを使用している会社(特定事業者)にエネルギー使用の合理化のためのエネルギー管理を義務づけ、エネルギー使用量の実績報告や中長期の省エネ計画を届け出ることを規定しています。カワイグループでは(株)河合楽器製作所、カワイ精密金属(株)、(株)カワイキャスティングが特定事業者になり、ピアノ製造の竜洋工場、金属加工のカワイ精密金属(株)本社・浜松工場、鋳鉄鋳物製造の(株)カワイキャスティングの3工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。

2018年度は、(株)河合楽器製作所、カワイ精密金属(株)、(株)カワイキャスティングの3社とも、省エネ法の事業者クラス分け評価制度にもとづく優的事业者のSクラス*の評価を受けました。

(*:エネルギー消費の5年間平均原単位を年1%以上削減する努力目標達成)

現在、多くの生産系事業所でISO14001(環境マネジメントシステム)を導入しており、今後も継続的にエネルギー使用量とCO₂排出量の削減に取り組んでいきます。



廃棄物削減の取り組み

廃棄物に関して排出量の削減とともにリサイクルによる資源循環の取り組みが重要な使命と認識して取り組んでいます。

カワイグループの廃棄物排出量は、2012年度にピアノフレーム製造の(株)カワイキャストिंगがグループの一員となり、鋳物製造時に生じる大量の鋳さいが産業廃棄物として排出されたため、3,203tonにまで増加しました。

その後、(株)カワイキャストिंगは生産ラインの合理化、生産効率の改善に取り組み、2018年度のカワイグループの産業廃棄物排出量は2,058tonに減少、2012年度比で36%削減、3か年計画の基準年2015年度比で8.6%の削減を達成することができました。

廃棄物の再資源化率についても、当初、(株)カワイキャストिंगの再資源率が小さかったために、カワイグループ全体の再資源化率に大きく影響しましたが、その後、(株)カワイキャストिंगで鋳さいの路盤材などへの活用を進めたことにより、(株)カワイキャストिंगの再資源化率が2012年度39%から2018年度73%に改善し、カワイグループ全体の再資源化率は2012年度57%から2018年度85%まで向上しました。

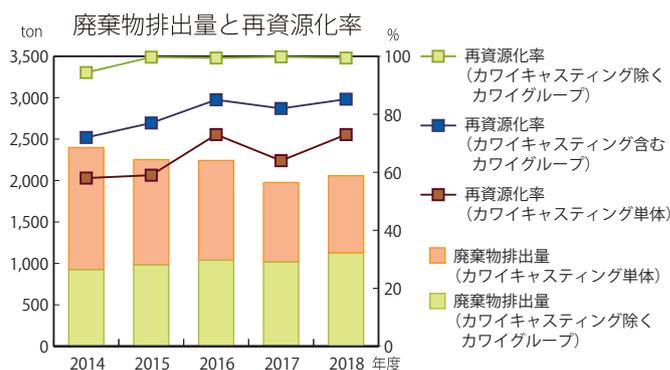
なお、(株)カワイキャストिंगを除くカワイグループの産業廃棄物排出量は、基準年2015年度982tonに対して2018年度1,128tonと15%増加しました。また、再資源化率は99%以上を継続維持しました。

(株)カワイキャストिंगに次いで多くの産業廃棄物を排出している竜洋工場では、産業廃棄物の木くず、木粉を製紙原料、ボード原料、堆肥、燃料等に活用し、フェルト屑は堆肥化などに、塗装廃棄物は無害なエコストーンに活用することなどにより、再資源化率100%を達成しています。

今後もグループ全体で廃棄物排出量の削減、再資源化率の向上に取り組んでまいります。



塗装廃棄物の再利用の例の展示 (竜洋工場)

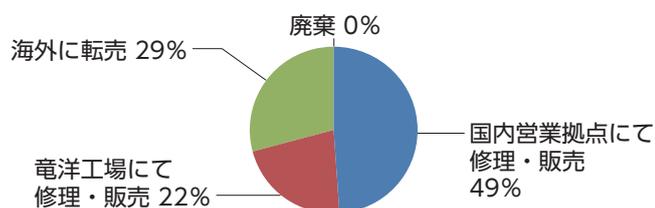


リサイクル・リユースの取り組み

循環型社会形成推進のための拡大生産者責任の考え方を踏まえて、1998年に(株)ピアノリサイクルを設立し(現在は(株)河合楽器製作所に吸収合併)、ピアノの再生と再使用・リユースを推進しています。現在、国内統括部のリサイクル担当グループが竜洋工場内で本事業を担当しています。また、日本国内の営業拠点においても下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。

2018年度に国内で約1000台のピアノが再生、リユースされました。そのうち、29%は輸出され、世界の各地で使われています。

下取りしたピアノの再生リユース (2018年度)



メーカーによるピアノ再生

メーカーだからできる仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者が、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノづくり90年の製造部門で長年の経験を持ち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から好評をいただいています。また、カワイピアノなら純正パーツによる修理・再生も可能で、大きな魅力となっています。



専門家による修理・再生

より環境負荷の少ない原材料・資源の調達を推進しています

グリーン調達ガイドライン

カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入するグリーン調達にグループ全体で積極的に取り組んでいます。

グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク（GPN）の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減し、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

グリーン調達の基本方針

- ① 調達の必要性を十分に考慮し、
- ② 品質や価格に加え環境に配慮し環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを、
- ③ 環境負荷の低減に努める事業者から優先的に調達する。

このグリーン調達ガイドラインはカワイグループが調達するすべての物品・サービスに適用されています。

また、調達基準として、法律、関連団体の基準、社内基準を遵守することはもちろん、環境配慮がされていることも規定されています。環境配慮については以下の項目が規定されています。

グリーン調達基準

- ・環境汚染物質への配慮、省資源、省エネルギー
- ・天然資源への配慮、長期使用性、リユース可能性
- ・リサイクル可能性、再生材料等の利用
- ・処理処分の容易性

サプライヤー選定時の配慮事項も下記に定め、購買部門よりお取引先に対応をお願いしています。

取引先選定時の配慮事項

- ・環境マネジメントシステム（EMSの種別は問わない）を構築し運用していること
- ・省資源、省エネ、化学物質等の管理・削減、グリーン購入、廃棄物の削減等に取り組んでいること
- ・梱包材についても製品同様の環境配慮に取り組んでいる事業者であること
- ・環境情報を積極的に公開していること

グリーン調達ガイドラインの詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。

http://www2.kawai.co.jp/company/activity/pdf/kg_20040130.pdf

木材調達ガイドライン

ピアノ等楽器の製造において木材は重要な原材料であることを認識しています。持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

《基本理念》

カワイは、木を大切に、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

《基本方針》

1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や遵法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物等を優先して調達する。

環境管理レベルの向上に努めます

環境マネジメントシステム

カワイグループではISO14001の導入を促進してまいりました。現在国内では竜洋工場、(株)カワイハイパーウッド、カワイ精密金属(株)にて認証を取得し、(株)カワイ音響システムでは、自己適合宣言を行っています。海外ではPT.カワイインドネシア第1・第2工場、河合楽器(寧波)有限公司にて認証を取得しています。

これらの事業所では環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善のPDCAサイクル(計画・実行・検証・対応の繰り返し)をまわすため定期的に内部監査を実施し、進行状況や是正事項の確認が行われています。

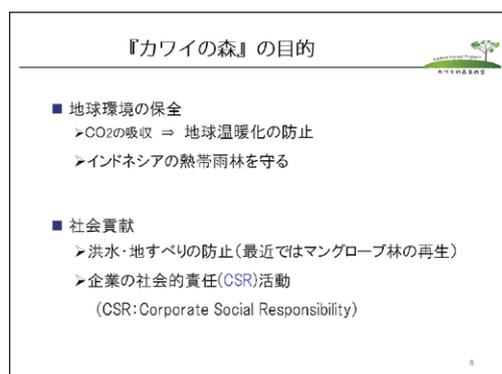
認証取得事業所では、外部の認証機関による毎年のサーベイランス審査及び定期ごとの更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。

全社員の意識向上を図ります

環境教育と意識づけ

カワイでは新入社員を対象とした教育の中で植林活動をテーマに講義を行い、環境への取り組みに対する意識づけを行っています。

この他、環境月間における構内外での清掃活動の実施、廃棄物再利用モデルの展示、ISO14001導入サイトでは環境方針(または品質環境方針)の掲示や朝礼での唱和の実施など、様々な場面で環境に対する意識づけや貢献活動の機会を設けています。



新入社員教育資料より



清掃活動の実施

「森の中の緑の工房」 竜洋工場

竜洋工場では建設当初から工場緑化を推進しています。1997年に楽器業界では初となるISO14001を取得し、環境マネジメントシステム内に緑化推進が組み込まれています。現在では敷地の約50%が緑地化され、3万本もの樹木に囲まれる、2代目社長河合滋が念願とした「森の中の緑の工房」を体現した工場となっています。

また、磐田市内の防潮堤植樹活動に取り組んでいるこども園にどんぐりの実を提供するなど、竜洋工場の「森」を活用した地域貢献も行っています。



「森の中の緑の工房」 竜洋工場



竜洋工場でどんぐりを拾う園児たち



どんぐりから育った苗の植樹

国内外で植林活動に取り組んでいます



インドネシアの「カワイの森」植林活動

ピアノをはじめとした楽器には多くの木材や天然素材が使用されています。このため、創業 80 周年記念事業として 2007 年にカワイグループ社員の有志により設立されたカワイの森育成会（河合弘隆会長）は、カワイグループの地球環境憲章の基本理念に則り、CO₂ の吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生すること、持続可能な木材資源の確保を目指して、インドネシア現地法人とインドネシア森林公社との連携のもと、海外生産拠点のあるインドネシアにおいて植林活動を行っています。

2018 年までに 500ha の土地に約 56 万本の植林を行いました。ほとんどの樹木が順調に成長しています。試算では「カワイの森」により年間 8,000ton 程度の CO₂ の吸収効果があり、カワイグループ全体の CO₂ 排出量の 30% 程度を吸収しているものと考えています。

また、2017 年からは海の水質浄化機能・津波の防波堤機能が見直されているマングローブ林の再生活動の取り組みも始めました。2018 年度までに、約 4 万 8 千本の苗木を植えています。これらインドネシアでの活動は今後も継続していきます。



インドネシアの「カワイの森」に植えられた木々

被災地の海岸防災林再生支援のための「カワイの森」植樹活動

カワイの森育成会では、4 年前より東日本大震災の津波により流失した海岸防災林の再生を目指す林野庁の「『みどりのきずな』再生プロジェクト」に参加してきました。東北森林管理局と協定を結んで海岸防災林の再生植樹から保育までを継続して取り組んでいます。2019 年 5 月には JR 仙台駅の東方海岸沿いにある荒浜地区で、宮城県緑化推進委員会と協力して、宮城県森林インストラクター協会の指導の下、海岸防災林の再生支援として「カワイの森」植樹を実施しました。

植樹当日には、宮城県内のカワイ音楽教室・カワイ体育教室の生徒の皆さまと保護者の方々、カワイ仙台及び教室の講師、宮城県緑化推進委員会、宮城県森林インストラクター協会の皆さま、総勢 90 名で 313 本の抵抗性クロマツの苗を植樹しました。天候にも恵まれ楽しく実施することができました。植樹終了後は、クラフト教室も開催し、木のぬくもりにも触れていただき有意義な時間を過ごすことができました。引き続き樹木の生長を見守っていきます。



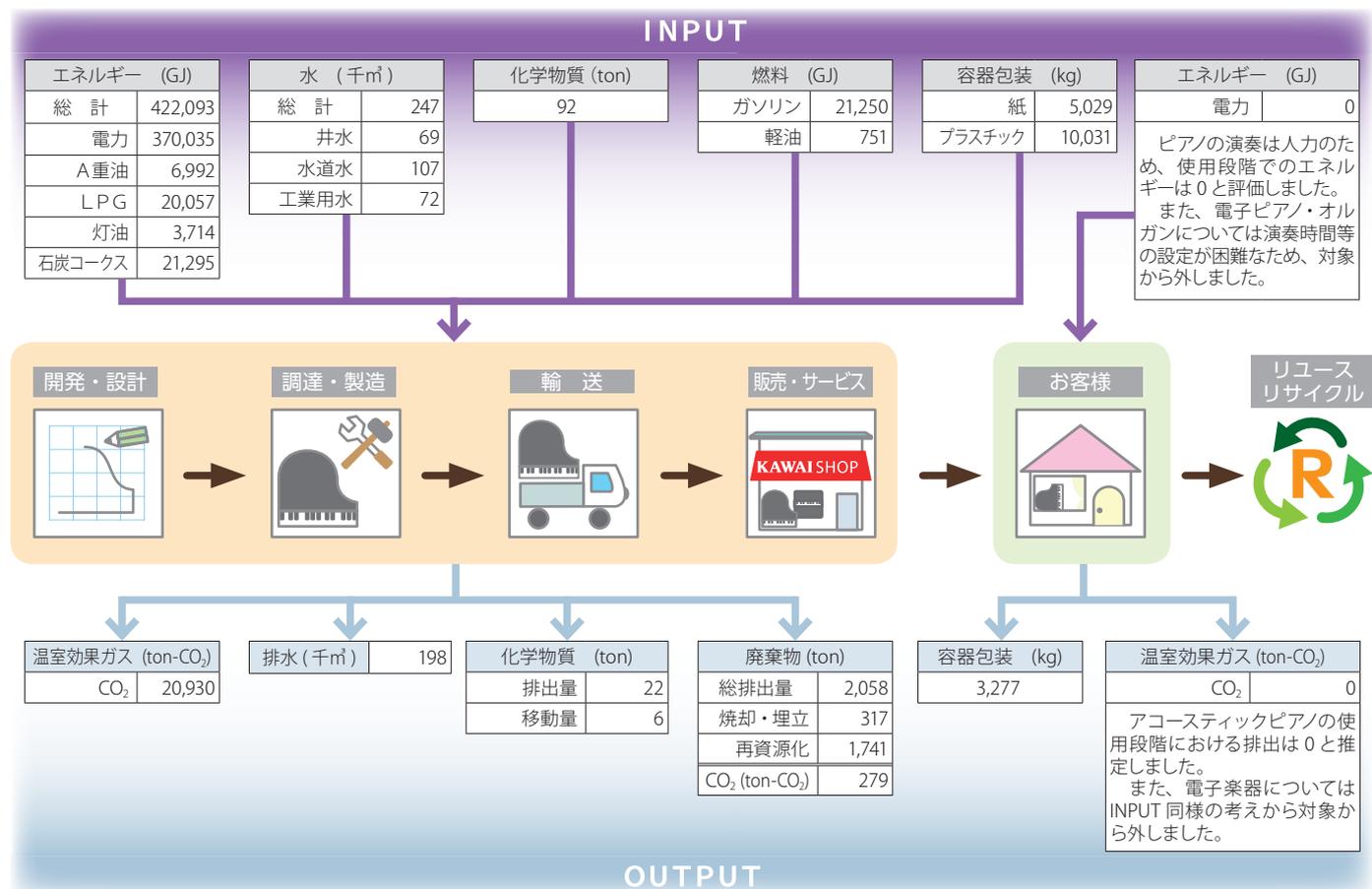
植樹会の様子

企業活動による環境負荷を数値で把握しています

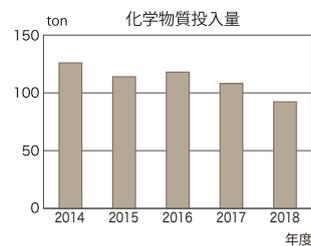
マテリアルバランス

カワイグループでは、事業活動にともなって発生する環境負荷を把握し、その及ぼす影響を軽減するために開発・設計・調達・製造から輸送、さらにお客様が製品を使用・リサイクル・廃棄に至るまでの各段階の資源・エネルギーの使用量やその他の環境負荷についてデータ集計を行なっています。

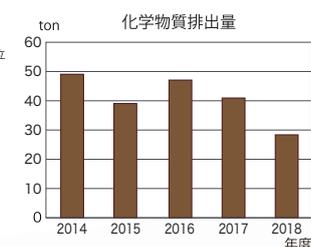
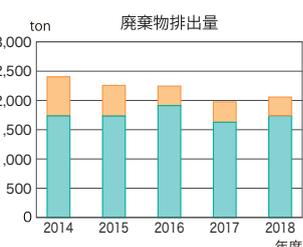
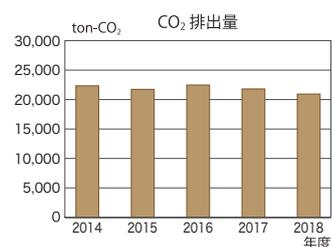
2018年度におけるエネルギー、化学物質などの投入量とCO₂、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。今後、環境負荷の低減に取り組むとともに、データ把握の範囲を拡大し、グローバルなデータ把握をすすめます。



INPUT



OUTPUT



音楽文化の振興に貢献しています

音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指して、また、日本の音楽文化を育てるため、カワイは、さまざまな音楽活動や文化活動を行っています。人々の心に感動の輪を広げたい。カワイの願いは着実に実を結んでいます。

次世代を担うピアニストを育成しています

Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールの開催

Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールは 2017 年の当社創立 90 周年を記念して、次世代を担うピアニストの発掘・育成、国際交流の推進、ならびに世界の音楽文化の振興を目的として創設しました。

近年多くの著名コンクールで公式ピアノとして活躍する、Shigeru Kawai グランドピアノの名を冠した当コンクールですが、2018 年開催の第 2 回では、世界 17 の国と地域から 239 名という多くの皆さまにご出場いただき、栄えある第 1 位にはアンドレイ・シチコさんが輝きました。

当コンクールは、2019 年 3 月より第 3 回目の開催を迎え、7 月には厳しい審査を通過した 58 名が東京に集結し、1 次予選、セミファイナル、ファイナルと審査を進めてまいります。

浜松国際ピアノコンクールへの協力

1991 年に浜松市制 80 周年を記念して、楽器と音楽のまちとしての歴史と伝統を誇るにふさわしい国際的文化事業としてスタートし、以後 3 年毎に開催しています。世界を目指す多くの若いピアニストに日頃の研鑽の成果を披露する場の提供と彼らの育成、世界の音楽文化の振興、国際交流の推進を目的としています。

当コンクールに対しては公式ピアノ、練習用ピアノや練習会場の提供等、ピアニストが万全の態勢で演奏ができるように協力しています。

また、コンクール開催期間中には出場者によるホームコンサートも開催するなど地域文化振興にも貢献しています。

2018 年開催の第 10 回コンクールではフルコンサートピアノ『SK-EX』を使用したトルコのジャン・チャクムルさんが優勝しました。



入賞者との集合写真



表彰を受けるジャン・チャクムルさん



アンドレイ・シチコさんの演奏の様子



ジャン・チャクムルさんの演奏の様子

音楽文化の普及に取り組んでいます

カワイ音楽振興会

カワイ音楽振興会は日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立されました。「カワイコンサート」の開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイタル・公開講座など多彩な催しを企画実施しています。

また、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行なっています。

これからも、“Music for All”の理念のもと、様々な活動を通じてすべての人々に良質な音楽を提供していきます。

多彩なコンサートや公開講座情報を掲載している「カワイ音楽振興会サイト」をご参照ください。

<http://kawai-kmf.com/>

カワイコンサート

1971年に日本中の人々に良い音楽をというポリシーのもとスタートしたカワイコンサートは発足以来これまでに2250回を超える公演を行ってきました。国際的なピアニストから新進気鋭の若手演奏家まで多彩な演奏家を招いています。カワイコンサートにはカワイ音楽教室の生徒の皆さまや講師の方々にもご来場いただき、感性の向上なども図っています。また、全国各地で開催することにより地域の音楽文化の更なる発展にも貢献しています。

このカワイコンサートの過去から直近の情報につきましては、カワイ音楽振興会サイトをご参照ください。



東日本大震災復興支援チャリティーコンサート2019

2019年3月10、11日に、仙台・東京・横浜・名古屋・大阪の5会場で、『東日本大震災 被災地復興支援チャリティーコンサート』が開催されました。

大震災から8年がたちましたが、カワイグループでは、音楽を通じて支援活動を継続しています。当初はピアノを東北に寄贈していましたが、現在では宮城県沿岸部での海岸防災林植樹活動を支援しています。

今年もそれぞれのコンサート会場で、第一線で活躍されているピアニストの方々にご協力をいただき、大盛況にチャリティーコンサートを開催することができました。会場ではチャリティー募金も実施されコンサート収益金と合わせてカワイの森育成会に寄付されました。寄付されたお金につきましては、2019年5月11日に仙台市若林区で実施しました海岸防災林再生支援植樹「カワイの森植樹会」に使用させていただきました。



各種音楽団体を支援し共に音楽文化の普及に取り組んでいます

日本ショパン協会への支援

日本ショパン協会は、1960年8月、フレデリック・ショパン生誕150年を記念して設立されました。初代会長は高折宮次先生で、高折先生と交流のあった河合滋社長(当時)が名誉会長となり、事務局を河合楽器製作所内に設置して、その活動をスタートしました。

以後年に数回の演奏会や公開講座の例会、1980年以降5年毎のショパン国際ピアノコンクールへの参加者オーディション、2005年以降は5年毎に日本ショパンピアノコンクール、2010年以降は毎年ショパン・フェスティバル in 表参道などを開催しています。また、1974年以降、年間最も優れたショパン作品を演奏したピアニストに対し「日本ショパン協会賞」を贈呈するなど、ショパンとその芸術の普及のために活発な活動を行っています。

<http://chopin-society-japan.com/>

クローツァー記念会への支援

クローツァー記念会は、ドイツと日本で活躍したレオニード・クローツァー教授の遺徳をしのぶ門下生および関係者により1962年3月、高折宮次氏を会長に設立されました。日本のピアノ音楽界発展のために尽くすという設立主旨に沿って諸事業を行っています。

1971年より、クローツァー教授の日本楽界に対する功績を記念して「クローツァー賞」を制定し、教授が生前教鞭をとった「東京芸術大学」、「国立音楽大学」、及びゆかりの深かった「武蔵野音楽大学」の各大学院ピアノ専攻修生の中から、特に優れた成績をおさめた人に賞を贈呈しています。

またこの受賞者を対象とした「クローツァー賞受賞者演奏会」を1976年より毎年開催するほか、ショパン=クローツァー校訂版楽譜(音楽之友社刊)の出版に協力しています。(現在は、楽譜配信サイト『@ ELISE (アット・エリーゼ)』よりダウンロード販売されています。)

<http://kawai-kmf.com/kreutzer/>

日本・ロシア音楽家協会への支援

1984年、日ソ音楽家協会の名で、当時のソ連作曲家同盟議長のティホン・フレンニコフ氏と初代運営委員長故芥川也寸志氏の親交から、両国の音楽作品の交換演奏を中心とする音楽文化交流を目的に発足しました。その後、ソ連の崩壊により『日本・ロシア音楽家協会』と名称を変更。新生ロシアと旧ソ連邦諸国との新たな交流活動に入りました。

ロシアとの文化交流コンサートを開催するほか、声楽・器楽のコンサートなどを定期開催しています。

<http://japan-russia-sfm.net/>

日本シマノフスキ協会への支援

日本シマノフスキ協会は、1981年、カロル・シマノフスキ生誕100年を記念して設立されました。

シマノフスキがポーランドを代表する作曲家としてショパンと並び称されるには、いくつかの理由がありますが、最大の理由は、彼の後期の作品がポーランドの山岳地帯の古い形の民謡をもとに傑作を生みだしたことによるものです。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された深い味わいがあるシマノフスキ作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のフレッシュ・コンサートや、例会としてコンサートや公開講座等を開催しています。

<http://kawai-kmf.com/szymanowski/>



ショパン
フェスティバル



クローツァー賞
受賞者演奏会



ロシア民謡
フェスティバル



日本シマノフスキ協会

海外での音楽文化の普及に取り組んでいます

中国での音楽文化の普及

中国においては中日友好コンサートなどの開催や中国（上海）国際楽器展覧会への出展などを通して音楽文化の普及を積極的に進めています。また、調律師の育成活動の一環として、中国の調律技術者を本社に招き、調律技術の継承を図っています。



西双版纳（シーサンパンナ）中日友好コンサート



中日友好新年音乐会



中国（上海）国際楽器展覧会



技術指導を受ける中国の調律技術者の皆さん

新興国での音楽文化の普及

現地教育者の人財育成を推進し、各国での音楽文化並びに音楽教育の普及に努めています。



マレーシア



ベトナム



インドネシア



タイ

教育活動を通じて、個性を育み、より豊かな人格形成を目指します

教育事業

カワイでは、音楽教室、体育教室を中心に、英語教室、絵画造形教室など、さまざまな教育活動を展開し、一人ひとりの個性を引き出すという教育の理念のもと、幼児から社会人、中高年の方までを対象に年齢やレベルに合わせて、興味の芽を大切に、素直に自己の感性を表現することを実現するサポートを行っています。

カワイ音楽教室

■教育の理念

カワイ音楽教室の理念は音楽「を」学ぶのではなく、音楽「で」学ぶこと。

ただ単に技術を習得して「うまく」なることだけを目的とせず、各コースの表現活動を通して個性を育み、より豊かな人格形成を目指します。



カワイ音楽教室「教育の理念」

カワイは音楽を通じて、一人ひとりがけがえない個性 (personality) を導きだします。そして、おたがいの個性を尊重しあう中から、他人 (ひと) と心を通わせ心を共振 (harmony) させる喜びを創りだします。

■教育のシステム

「音楽は人間が豊かになる為の、もっとも栄養価の高い糧である」という信念のもと、60年以上の実績を積み重ねながら、教育システム構築と指導方法の探求を行なってまいりました。

子どもから大人の方まで、「音楽する人 (生徒) を育てる」という一貫した姿勢により、対象年齢に応じたコースを展開しています。

■講師へのこだわり

1956年に誕生したカワイ音楽教室は、60年以上の長い歴史の中で最先端の教育研究に取り組み、確かな実績を積み上げ、高い評価を得てきました。その内容の充実ぶりは、いずれのコースにおいても他に類を見ないと自負しています。特に幼児コースには力を注ぎ、講師は児童心理学や幼児教育理論の習得、実践研修を重ねています。

質の高い講師を十分に確保していることも誇るべき大きな特徴です。



■個性を伸ばす多彩なコース



幼児リトミックコース〈グループレッスン〉

<p>親子でふれあい リトミック</p>  <p>1歳からの クーちゃんランド</p> <p>対象:H29.4.2~H30.4.1生まれのお子さま</p>	<p>お友達と音楽 いっぱい!</p>  <p>2歳からの くるくるクラブ</p> <p>対象:H28.4.2~H29.4.1生まれのお子さま</p>	<p>リトミック& 鍵盤コース</p>  <p>3歳のための ピコルわーど</p> <p>対象:H27.4.2~H28.4.1生まれのお子さま</p>	<p>グループ 鍵盤コース</p>  <p>4歳のための ピコルわーど</p> <p>対象:H26.4.2~H27.4.1生まれのお子さま</p>
---	--	---	---

個人コース〈個人レッスン〉

<p>個人・グループ レッスン</p>  <p>3歳からの 3歳ソルフェージュ</p>	<p>個人レッスン</p>  <p>4歳からの 子どもピアノコース</p>	<p>個人レッスン</p>  <p>小学生からの ピアノコース</p>	<p>個人レッスン</p>  <p>ハイレベル ピアノコース</p>
---	--	---	--



体育・スポーツ教室を通じて、子どもたちの、心とからだの調和をはかり、豊かな人生を歩む基礎づくりをサポートします

体育・スポーツ教室

子どもを対象とした体育コースやスポーツコースでは運動能力の発達や技術の向上はもちろん、集団でのレッスンの中で協力して目標に向かったり、互いに励ましあったりすることで社会性を養うことなど、「からだの面」、「こころの面」、「知的な面」の3つの要素を重要視した指導を行い、人間的豊かさにあふれる人の育成をサポートしています。

体育コース



2 さいクラス

からだ全体を使って、個性や運動能力、社会性を育みます。



幼児クラス

運動する楽しさを感じ、運動好きな子どもに育てます。



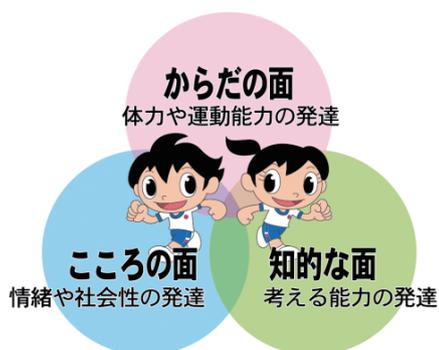
児童クラス

運動に関する創造性や積極性を育てます。



チャレンジコース

年齢の違う集団のなかで、「できる喜び」「生きる力」を育てます。



スポーツコース



サッカークラス

楽しいから上手くなる。好きだから長続き。夢はJリーガー。



新体操クラス

感動をあたえる美しい表現力を身につけるために…。



器械体操クラス

体操技術を通して、心とからだのバランスを育てます。



水泳クラス

水遊びから始めて、4泳法を習得。全身の発達をめざします。

さまざまなステージで、健康づくりを総合的にサポートします

カワイは、体育教室をはじめとした健康づくりのサポートを全国で展開してから50年以上になります。このキャリアとノウハウを広く社会に公開・提供するのも一つの役目と考えています。

未就園児から高齢者まで、楽しみながら健康の維持・促進を図り、しかも測定データや最新機器を駆使し科学的にサポートする独自のシステム、それが「カワイ ヘルスプロモーションサポートシステム」です。さまざまなステージでの、健康づくりをサポートしています。

カワイ ヘルスプロモーション サポートシステム



カワイ体育教室正課・課外

幼稚園の学習指導要領の健康領域をサポートする「カワイ体育教室」導入のご提案です。



特定保健指導の支援

カワイでは長年培ってきたノウハウをもとに、働く人を対象とした健康増進プログラムを、企業、市町村に導入していただいています。



介護予防システム

カワイは運動機能の向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知機能低下予防を中心に、高齢者を対象とした介護予防の支援をいたします。



モバイルヘルスアップツール

携帯電話やパソコンの「双方向性」「情報処理機能」を使ってウォーキングや健康管理を快適にサポートする今までに無いツールです。



介護予防指導員セミナー

カワイは介護予防事業の中心的な役割を担う「介護予防運動指導員」を養成する指定事業者として講習会を企画・実施します。



スポーツコミュニティ 次世代アスリートの育成や生涯スポーツのきっかけづくりの場を提供

トップアスリートの生の声や演技、指導は、運動への興味や関心、スポーツへの参加意欲を高め、次世代アスリートの育成や生涯スポーツのきっかけづくりとなると考えています。

カワイ体育教室のチーフアドバイザーの水鳥寿思さんや新体操クラスのチーフインストラクターの川本ゆかりさんをはじめとしたトップアスリートを招き、各地のイベントや「カワイカップ」など、トップアスリートと交流する機会として「スポーツコミュニティ」を展開しています。



カワイ体育教室 スタッフ紹介

チーフアドバイザー

水鳥 寿思 さん



2004年アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリスト。現役を引退後カワイ体育教室のチーフアドバイザーに就任しました。各地区での講話や実技披露など、運動の楽しさを広めるとともに、幼児・児童の体力強化や大人の健康増進に向けた運動プログラムの監修にもあたっています。

●運動の良さと大切さについて

運動を行うことで体力や運動能力などの丈夫な体を獲得できたり、目標達成能力や集中力などの精神的成長、仲間や先生とのコミュニケーションなどによって社会性も養われますが、そうした様々な効果を生きていく中で自然と得られる、ということは他に代えがたいものであり子供にとって非常に重要な存在なのでは、と考えています。

また、夢中になって取り組んだ成果が形となって表れ、本人のみならず、見ている人にも感動を与えることができるのも運動の素晴らしい力だと考えています。

新体操クラス チーフインストラクター

川本 ゆかり さん



1992年バルセロナオリンピック出場。2009年よりカワイ体育教室の新体操クラスのチーフインストラクターとして、カリキュラム開発や指導者の育成を担当しています。スポーツコミュニティも担当しています。

●運動の良さと大切さについて

小さいころからお転婆で、できないことはできるまでやる!という、負けず嫌いな子どもでした。

小さなことでも、できた!成功した!という経験は自信へと繋がり、自分で運動の工夫や、創造をすることが好きになると思います。小さい頃に、様々な運動活動で多種多様な動きを身につけることで、生涯に渡って身体を動かすことが楽しいということに繋がると思います。仲間と一緒に喜んだり、助け合い励まし合う経験も、生きていくうえで生きる力を学ぶことにも繋がると思いますので、グループ活動も沢山経験することができる環境づくりが大切であると思います。

人財を大切にしています

カワイでは、目まぐるしく変化する時代に対応した組織づくりを目指し、また 100 周年に向け、より強い企業になるための取り組みを推進しています。

一般事業主行動計画の遂行

カワイでは、特に子育て世代の従業員のワークライフバランスを見直してよりよい就労環境を提供すべく、厚生労働大臣の「子育てサポート企業」の認定を受けるための一般事業主行動計画を掲げ、目標達成に向けた活動を続けています。

その一環として、従業員の家族を対象とした工場見学「かぞく参観日」を実施し、家族が働く職場、仕事内容を知っていただくことで、従業員それぞれのご家庭において、会社や働き方についての理解を深めていただくための「きっかけ」を提供しています。

また、「かぞく参観日」のほかにも、

- ・配偶者出産休暇の取得促進
- ・女性だけでなく男性の育児休業の取得促進

にも努めています。



かぞく参観会の様子

育児休暇取得推進

カワイでは、1992 年から育児休暇制度を導入し、取得率は上昇しています。

2018 年は対象となる女性従業員の全員が取得しており、近年では男性従業員の取得者も増加し、2018 年度には 5 名が取得しています。

また、女性の育児休業からの復職支援として、人事担当者が毎月取得者に連絡を取り、育児に関する相談や会社のニュースをお知らせしています。また、通信教育の受講を促し、修了者には受講料の全額補助をするなどして、スムーズな職場復帰を支援しています。

育児休暇取得状況



工場見学の受け入れ

竜洋工場では、「かぞく参観日」以外にも、地域の小中学生・高校性・大学生その他多くの方々の見学を受け入れています。グランドピアノ組立から完成するまでの仕上工程をご覧いただくことができます。

見学後、小学生をはじめたくさんの方からお礼のお手紙をいただきました。「真剣な顔の職人さんを見て、これからも家のピアノをきれいに使いたい。」「1 台のピアノができるまでに何人もの職人の手作業があることがわかった。」など嬉しい感想をいただいています。

海外からお見えになるお客様も多く、国内外のピアニストの方々にもご見学いただいています。



見学者から届いたお手紙

〔工場のご見学に関するお問い合わせ〕

竜洋工場 業務室 静岡県磐田市飛平松 252

TEL.0538-66-5111 FAX.0538-66-5919

障がい者雇用の積極的な実施

カワイにおける障がい者雇用は、2015年度から4年連続で法定雇用率をクリアしており、2018年度も障がい者雇用率は2.35%と、法定雇用率の2.2%を上回っております。

これは、近隣の特別支援学校のご協力のもと、実習による業務のマッチングを考慮した採用を継続していることも大きく影響しています。

今後も、企業として地域とのつながりを重視しながら、社会的責任を果たしていきます。

障がい者雇用率



積極的な人材育成の実施

カワイでは、2007年から施行している人事制度による人材育成体系に沿った教育研修を、実施しています。

特に近年では若手従業員の育成に比重を置き、新入社員研修を皮切りに、6カ月目のフォローアップ研修、2年次研修、3年次研修、4年目の事務・技術・技能職を対象とした営業現場実習、5年目の営業職を対象とした生産現場実習、6年次研修と、6年目まではほぼ毎年教育研修を実施しています。

また、監督層や管理層への昇格者を対象とした昇格者研修や、業務能力向上を図るための階層別研修も毎年企画されています。年次別、階層別の研修以外にも、ピアノメーカーの責務を果たすため、一流の調律技術者を育成するための研修も実施しています。国家資格1級を有した当社の調律技術者からさらに選抜された候補者を、カワイのピアノを知り尽くした証である「MPA」の資格取得のために育成するべく1年間の海外研修に派遣しています。2014年と2018年には、女性調律師も海外研修に赴いています。



教育研修風景



MPA 取得に向け海外研修中の女性調律師

社員の防災意識の向上

総合防災訓練

本社および工場、関連会社が多くある静岡県では東南海地震の発生が予想されています。このため、毎年9月に本社近郊事業所で防災訓練を行っています。地震に対する避難訓練に加え、火災発生を想定した消火訓練、津波を想定した屋上への避難訓練、人員確認のための無線訓練などを行い、従業員の安全確保と防災に関する意識づけを行っています。

緊急対策訓練

ボイラーの燃料にA重油を使用している(株)カワイハイパーウッドでは、地震によるタンク配管の破損等で重油が流出した想定で、緊急事態の発生時に対応ができるよう、定期的に教育・訓練を行っています。



健全な企業経営体制を構築しています

コーポレート・ガバナンス基本方針 (2018.12.27 改定)

カワイは「経営の理念」に基づき、持続的な成長と、中長期的な企業価値の創出に向けて「コーポレート・ガバナンス基本方針」を制定しました。この基本方針では、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方や体制など、5つの章に定めています。

コーポレート・ガバナンス基本方針の詳細は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://www.kawai.co.jp/company/governance/>

コンプライアンスの推進

コンプライアンスとは法令等遵守と訳され、社会の法令や会社内の規程などを守っていくことだけでなく、社会規範を含んだ倫理規範の実践により社会の信頼を得ていく事が必要であると考えられています。

このようなことからカワイグループでは全従業員が取り組む、コンプライアンス経営を推進しております。具体的には法令遵守に加え、社会的な規範を包含した「カワイ倫理規範」、「倫理行動規準」を制定するとともに、外部有識者（弁護士）を加えた企業倫理委員会を設置しております。

また、企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めております。

内部統制システムに関する基本的な考え方

カワイでは「経営の理念」および「行動指針」を策定し、業務運営の指針としており、併せて中期経営計画に掲げた目標の達成に向けて、各組織が予め定められた役割に従い、法令や定款に則って効率的に戦略遂行できる体制構築を目指しています。また、法律問題につきましては、分野ごとに恒常的に複数の法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めています。

内部統制システムについては、企業価値向上のためのコーポレート・ガバナンスの一環としてその重要性を認識し、2006年5月12日に取締役会で決議しました「内部統制システムの構築に関する基本方針」に則り、その確立に取り組んでおります。

反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観点からも必要なものであります。このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するため、コンプライアンス体制及び内部統制システムの一環としての体制整備に努めております。

河合会長兼社長のコミットメント

私は新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、1996年4月に新しい経営の理念を制定いたしました。新しい経営の理念の中で『お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します』『新しい時代に向かって企業活動を推進します』と謳っております。

すなわちお客様の満足度を常に考え、カワイブランドに対する信頼の維持を図り、新時代の社会の要請などに沿った企業活動を推進していくというものです。

2002年10月には社員ひとりひとりが企業社会人として、社会的良識をもって行動するための基本となる「カワイ倫理規範」「倫理行動規準」を制定いたしました。カワイグループの企業倫理の遵守を第一に高い倫理観と常識をもって行動し、「社会からの信頼」に応え、カワイブランドに対する信頼を損なわないようにすることが必要であると認識しております。

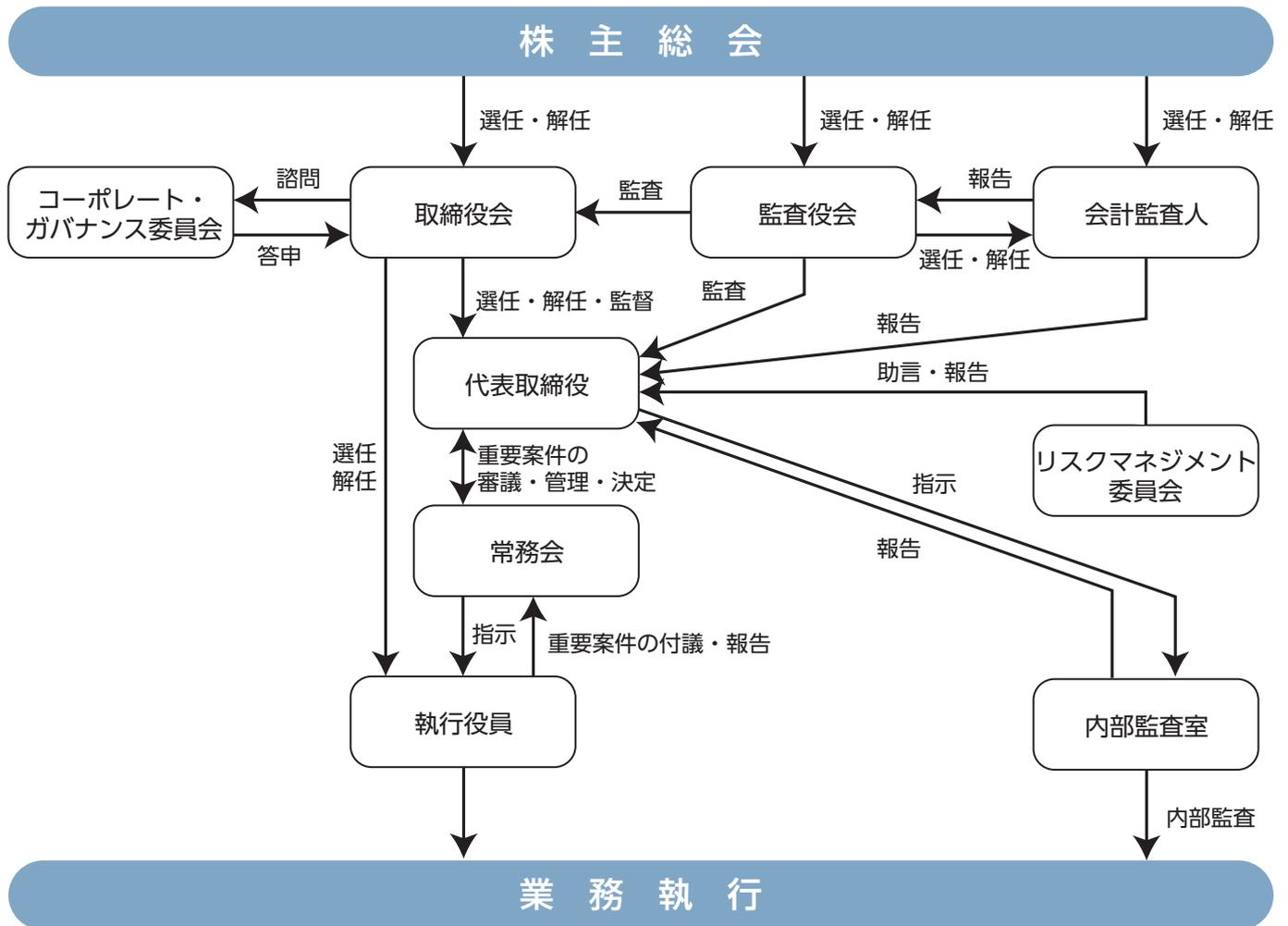
このようなことを踏まえ、私は、今回ここに業務の遂行にあたり、役員以下カワイグループ全社員に率先して当社のもつ社会的責任を自覚し、あらゆる場面において「カワイ倫理規範」を遵守し、「倫理行動規準」の精神に則って行動することを誓います。



代表取締役会長兼社長

河合弘隆

コーポレート・ガバナンス 体制／内部統制システム



- ・取締役会：社外取締役を含む取締役で構成
- ・監査役会：社外監査役を含む監査役で構成
- ・コーポレート・ガバナンス委員会：取締役の諮問機関として「コーポレート・ガバナンス委員会」を設置し、取締役候補者の選定に関する事項や、取締役の報酬に関する事項、その他コーポレート・ガバナンスの向上に関し審議し取締役会に答申、報告を行っています。
- ・2002年4月より執行役員制度を採用
- ・2005年6月より執行役員制度を改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。また、社外取締役を選任しており、社外取締役には客観的な立場から取締役会における意思決定の妥当性及び取締役会の職務執行について大局的な視点で助言、監督をいただき、経営の透明性を高めております。
- ・経営会議体として全社的課題を審議するステアリング・コミッティ、戦略課題を全社的見地で審議する全社戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。
- ・内部監査：「内部監査室」を設置し、カワイグループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の遵守状況についての監査を行っています。

リスク管理体制

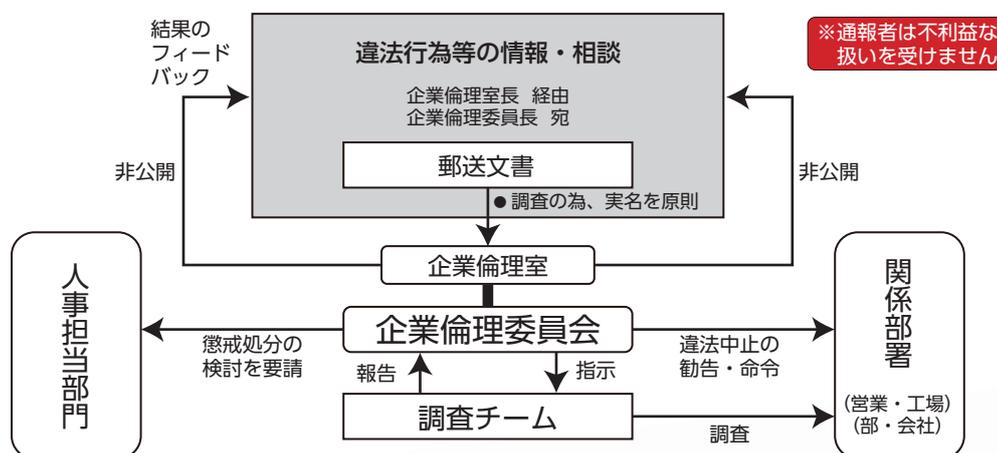
カワイのリスク管理体制は、業務執行に伴うリスクを未然に防止することを第一とし、リスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから必要に応じグループ全体を対象とした委員会等を設置するなど、機動的な対応に努めております。

リスクマネジメント委員会は、カワイグループ全体のリスクへの対応のために、規程類の整備、運用状況の確認、要員の訓練、研修等を企画実行するとともに全社リスク管理状況を定期的に取り締役に報告しております。

傘下に下記分野別の各委員会を設置するとともに、不測の事態が発生した場合には、「緊急対策本部」をただちに設置し、迅速な対応と損害の拡大の防止にあたるものとしております。

リスクマネジメント委員会	
地球環境委員会 カワイグループは1994年に地球環境委員会を設置し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。地球環境委員会では「地球環境憲章」、「カワイ環境方針」、「グリーン調達ガイドライン」、「木材調達ガイドライン」等を制定。また環境に関する法令の遵守はもとより環境保全の目的・目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。	製品安全対策委員会 万が一、市場に出た当社の製品に安全上の不具合があり、それが原因でお客様の生命身体に危害が及んだり、その可能性があるかと判断されるときに、お客様への告知、行政機関への報告、製品の回収といった対策を迅速に実行し、お客様への被害を最小限に止める諸活動を行っています。
海外安全対策委員会 海外子会社、海外駐在員並びに海外出張者のリスク管理を行っています。	中央防災対策委員会 カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を行っています。
情報セキュリティ委員会 情報資産の機密性、完全性、可用性の確保、維持を全社的な立場で統括管理しています。	中央安全衛生委員会 カワイグループの従業員の安全衛生意識の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。
企業倫理委員会	
コンプライアンス経営を推進するため、法令遵守に加え社会的な規範も包含したコンプライアンス要綱（カワイ倫理規範、倫理行動基準を含む）を制定するとともに弁護士等外部有識者を加えた企業倫理委員会を設置しています。また企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。	

企業倫理委員会・企業倫理ホットラインの流れ



環境負荷サイト別一覧

参考 基準年
1990 2014 2015 2016 2017 2018 基準年比

事業内容	敷地面積	項目	単位	参考 基準年						基準年比	
				1990	2014	2015	2016	2017	2018		
電洋工場 静岡県磐田市 事業内容：ピアノ製造 敷地面積：168,218㎡		INPUT	電気	GJ	101,341	57,599	59,759	57,787	55,627	55,292	-7.5%
			燃料	GJ	28,253	18,352	16,091	17,861	18,032	16,876	4.9%
			水	千㎡	3330.0	33.5	36.0	35.6	38.1	45.2	25.5%
			化学物質	ton		33.1	38.9	36.8	39.1	44.6	14.6%
		OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	7,632	3,590	3,551	3,553	3,462	3,388	-4.6%
			化学物質	ton		5.0	6.3	6.0	6.7	8.2	29.4%
			廃棄物 焼却・埋立	ton	437.3	6.3	0.2	0.3	0.2	0.2	3.2%
			廃棄物 再資源化	ton	102.0	697.9	767.8	823.2	836.0	854.5	11.3%
カワイ精密金属(株)浜松工場 静岡県浜松市北区新都田 事業内容：金属部品製造 敷地面積：26,817㎡		INPUT	電気	GJ		53,432	57,647	63,386	68,526	67,822	17.7%
			燃料	GJ		17.8	21.1	21.9	22.7	29.1	38.0%
			水	千㎡		27.1	24.0	28.5	30.0	31.4	30.5%
			化学物質	ton		14.4	1.8	3.0	1.8	3.0	66.7%
		OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		2,440	2,632	2,894	3,129	3,097	17.7%
			化学物質	ton		8.1	0.0	3.0	1.1	2.6	増加
			廃棄物 焼却・埋立	ton		30.8	1.4	0.0	0.0	0.0	-100.0%
			廃棄物 再資源化	ton		28.8	56.7	58.3	57.0	64.0	13.0%
カワイ精密金属(株)松本工場 長野県松本市笹賀 事業内容：金属部品製造 敷地面積：14,612㎡		INPUT	電気	GJ	57,070	42,514	42,985	42,748	48,971	49,627	15.5%
			燃料	GJ	7,132	5,270	4,109	5,393	5,473	4,194	2.1%
			水	千㎡	42.1	95.2	73.3	72.3	79.6	67.0	-8.6%
			化学物質	ton		37.7	32.9	39.5	33.5	15.2	-53.9%
		OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	3,674	2,313	2,252	2,333	2,622	2,561	13.7%
			化学物質	ton		27.9	23.7	30.6	26.1	8.6	-63.9%
			廃棄物 焼却・埋立	ton	0.0	13.5	1.6	2.2	2.1	1.8	8.8%
			廃棄物 再資源化	ton	61.4	16.2	11.7	19.4	29.9	16.5	40.7%
(株)カワイキャスティング 石川県羽咋市柳田町 事業内容：鋳鉄鑄物の製造及び販売 敷地面積：41,000㎡		INPUT	電気	GJ		65,816	62,918	70,178	65,776	59,159	-6.0%
			燃料	GJ		30,359	29,113	33,656	28,847	23,875	-18.0%
			水	千㎡							
			化学物質	ton		19.7	19.4	22.8	19.5	14.6	-24.6%
		OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		6,100	5,843	6,634	6,009	5,193	-11.1%
			化学物質	ton		1.4	2.0	1.9	1.7	2.5	26.3%
			廃棄物 焼却・埋立	ton		690.5	518.3	349.7	345.1	298.5	-42.4%
			廃棄物 再資源化	ton		731.8	752.4	854.6	611.9	622.9	-17.2%
(株)カワイハイパーウッド 静岡県浜松市東区中部町 事業内容：自動車内装部品製造 敷地面積：15,074㎡		INPUT	電気	GJ	14,787	14,759	15,799	15,084	14,134	16,415	3.9%
			燃料	GJ	11	3,584	3,636	3,595	2,885	2,771	-23.8%
			水	千㎡	28.6	4.4	4.3	3.6	3.0	3.4	-20.4%
			化学物質	ton		21.2	21.0	16.1	13.8	14.8	-29.3%
		OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	1,250	927	979	943	849	945	-3.4%
			化学物質	ton		0.6	0.6	0.5	0.4	0.5	-24.2%
			廃棄物 焼却・埋立	ton	218.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			廃棄物 再資源化	ton	32.3	119.7	131.4	117.6	79.7	91.6	-30.3%
(株)カワイ音響システム 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 事業内容：防音室・音響部材の製造 敷地面積：2,972㎡		INPUT	電気	GJ		958	969	920	871	865	-10.8%
			燃料	GJ		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			水	千㎡		0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	26.1%
			化学物質	ton							
		OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		44	44	42	40	39	-10.8%
			化学物質	ton							
			廃棄物 焼却・埋立	ton		0.0	1.7	3.3	0.0	0.0	-100.0%
			廃棄物 再資源化	ton		7.6	7.3	11.4	7.1	11.0	50.5%
本社 静岡県浜松市中区寺島町 事業内容：本社機能、研究開発 敷地面積：6,784㎡		INPUT	電気	GJ		5,864	5,651	5,827	6,207	5,751	1.8%
			燃料	GJ		564	343	26	140	102	-70.1%
			水	千㎡		4.5	4.1	3.6	3.6	3.4	-15.6%
			化学物質	ton							
		OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		307	282	267	293	269	-4.4%
			化学物質	ton							
			廃棄物 焼却・埋立	ton		4.2	4.4	4.5	4.2	5.5	24.5%
			廃棄物 再資源化	ton		28.6	22.9	24.1	22.9	78.9	244.7%

第三者意見

東京工業大学 環境・社会理工学院 教授
中崎 清彦 先生



本報告書は環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance)、すなわち ESG の 3 分野の構成となっており、従来、「社会性報告」に分類していた「コーポレート・ガバナンス」もガバナンスに分類しなおして、わかりやすい報告書のための工夫がなされている。

報告書の最初には、会社の長期ビジョン「100 年ブランドの確立」で何をめざしているか、それを実現するための第 8 次中期経営計画までの道筋が明示されており、2016 年度から 2018 年度に実施された第 5 次中期経営計画「Resonate 2018」の成果、加えて長期ビジョンの達成を加速するための第 6 次中期経営計画「Resonate 2021」の戦略が適正にまとめられている。「成長の為のさらなる基盤強化」のステージとした「Resonate 2021」の長期ビジョン中での位置づけも明確である。

また、事業と会社の概要については、売上高と経常利益が順調に増加していることが示されており、これは「第 10 回浜松国際ピアノコンクール」で、前回に引き続き、フルコンサートピアノ『SK-EX』を選定した奏者が優勝したことからも明らかのように確かな技術力を持ち、それを背景に適正な経営戦略がとられているためであろう。

なお、環境に対する取り組みについても数ページを費やして詳細な説明がおこなわれており、環境に十分に配慮した企業活動であることが示されている。「地球温暖化の防止」や「資源循環と資源の有効活用」による環境負荷低減では、生産工程の合理化や省エネルギーへの取り組みにより、2018 年度までの 3 ヶ年で目標としていた、CO₂ 排出量と廃棄物排出量の売上高原単位で 2015 年度比 3%削減を大きくクリアしている。また、2018 年度は、(株)河合楽器製作所、カワイ精密金属(株)、(株)カワイキャストの 3 社とも、エネルギー消費の削減目標を達成したことで、省エネ法の事業者クラス分け評価制度における優良事業者の S クラスの評価を受けている。以上のように、環境に対する取り組みは大きな成果に結びついている。

長期ビジョン「100 年ブランドの確立」には ALL KAWAI で臨むことが必要であろう。報告書に示されている教育研修プログラムの拡充による能力開発や、女性活躍推進を起点とした働き方改革などから「人材」の育成に真剣に取り組んでいる姿がみてとれる。なお、あえて財の字を用いているのは、人材を財(たから)と位置づけていることの表れであろう。人材の育成と活用で「100 年ブランドの確立」に向かって着実に前進するものと期待される。

第三者意見を受けて

中崎先生には、本年度も第三者意見として、本報告書に対するご評価、貴重なご意見を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019 年度の報告書では当社の取り組みを ESG の各側面からまとめました。第三者意見では、この点を評価していただきました。新中期経営計画「Resonate 2021」では、ESG への取り組みを重要なテーマとして掲げています。各部門、社員一人ひとりが ESG 推進の意識を持って実践することをしっかりと推進してまいります。

当社グループの行動指針に掲げている通り、自然との共生を大切に、社会に役立つ活動を積極的に行い、音楽文化に貢献することにより企業価値の向上を図るとともに、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。

(カワイ地球環境委員会 事務局)

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

株式会社 河合楽器製作所

お問合せ先

カワイ地球環境委員会

事務局：管理本部CS環境室

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地

TEL= 053-457-1252 FAX= 053-457-1300

URL= <https://www.kawai.co.jp/>

